

1. 予算の執行促進策と執行上の課題について

- 監理（主任）技術者、現場代理人に若手技術者（基準日に満40才未満）又は女性技術者を配置する場合を評価することで、担い手の確保を促す方式。
- 専任指導者制度を活用した場合の監理技術者にも加点を可能とすることにより、更なる担い手確保の取り組みを促す。
- 担い手の確保については令和6年6月に改正された「公共工事の品質確保の促進に関する法律」にも明記されており、発注者として担い手の確保を促すことにより、建設業における将来的な人材の確保・品質の向上が図られる。

本方式の評価イメージ

- ・配置予定技術者の施工能力等の評価項目のうち、「工事成績」の加算点を満点8点から5点に変更し、企業の施工能力等の「担い手の配置」に3点を分配する。
- ・施工能力評価型Ⅰ型Ⅱ型ともに同様の扱いとする。

（施工能力評価Ⅰ型）

企業の 能力等	施工実績	3点
	工事成績	3点

	優良工事等表彰等	4点

地域貢献度		3点
技術者 の能力 等	施工実績	8点
	工事成績	8点

施工計画		10点

（技術者育成型）

企業の 能力等	施工実績	3点
	工事成績	3点

	担い手の配置	3点
	優良工事等表彰等	4点
...	...	
地域貢献度		3点
技術者 の能力 等	施工実績	8点
	工事成績	5点

施工計画		10点

技術者育成型型の試行案

- ・施工能力評価型Ⅰ型、Ⅱ型に適用可能とする。
- ・対象工種は、比較的難易度の低い一般土木工事とする。
- ・専任指導者制度を活用した場合の監理技術者へも、評価基準に合致する場合は加点する。
- ・次代担い手（若手・女性技術者）活躍型との併用活用はできないものとする。

担い手の配置の評価（企業の施工能力）

評価内容	評価基準	加算点
配置予定の監理（主任）技術者、又は現場代理人が次の条件を満たしていること ・基準日において、40才未満であること、又は女性であること	配置あり	3点
	配置なし	0点

工事成績の評価（配置予定技術者の施工能力）

評価内容	評価基準	通常の加算点	試行の加算点
北陸地方整備局発注工事(港湾空港関係事務に関するものを除く。)における6カ年度の一般土木工事の工事成績評定点	8.2点以上	8点	5点
	8.1点以上 8.2点未満	7点	4点
	8.0点以上 8.1点未満	6点	3点
	7.9点以上 8.0点未満	5点	2点
	7.8点以上 7.9点未満	4点	1点
	7.7点以上 7.8点未満	3点	0点
	7.5点以上 7.7点未満	2点	
	7.0点以上 7.5点未満	1点	
	7.0点未満又は北陸地方整備局の成績なし	0点	

■部独自の発注目標の設定

- ・地域別発注状況の集計、進捗管理
- ・状況に応じて地域間での配分変更を検討・実施
- ・当初予算分と国補正分での発注目標を定め、早期発注・早期執行

■ゼロ県債を活用した計画的な執行

- ・交付金ゼロ県債や通常ゼロ県債を設定し、施工時期の平準化、年度当初の事業量を確保

【参考】R7設定実績

交付金ゼロ県債	28億円
通常ゼロ県債	45億円

■適時の発注見通し公表

- ・年間5回の定例の公表日の他、適時に追加公表を行うことにより、建設業者が、限られた技術者を計画的に配置できるよう努めている。
- ・国の補正予算については、国費内示後の2月上旬に、県2月議会の議決見込として発注見通しを公表している。

■繰越し手続きの円滑化

- ・ 9月議会以降の各会議で必要となる繰越明許費の設定を上程し、適切な工期を設定を行い、円滑に事業を推進している

■ゼロ債等を活用した計画的な執行

- ・ 11月議会でゼロ県債を設定。また、当初予算で、1年未満の債務負担行為を設定し、施工時期の平準化や計画的な執行に取り組む

■県単独事業当初予算の早期箇所付け

- ・ 3月下旬の議決後、速やかに箇所付けを実施（R7年度～）

【石川県】予算の執行促進に向けた基本的取組

執行促進のための基本的取組

① 不調・不落対策

建設業者が計画的な受注と技術者配置ができるよう、

- 四半期毎の**発注見通し**の公表
 - **余裕期間制度**の活用を拡大
- などの取組により、不調不落の減少に努めている

また、災害復旧工事における不調・不落対策として

- **工事ロットの大型化**
- 技術者の**兼務制限の緩和**
- **入札参加要件の緩和**

などの取組を行い、限られた人材の有効活用や施工業者の確保に努めている

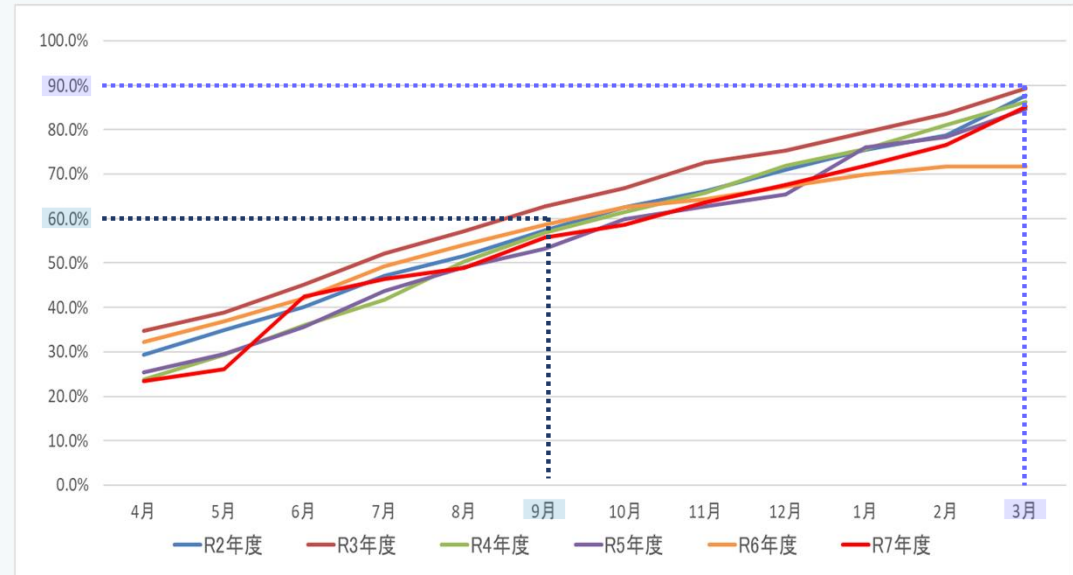
② 積極的な債務の活用

- 1 2月議会で**ゼロ県債**を設定し、年度末、年度初めの端境期においても切れ目無く事業を執行

③ 繰越手続きの円滑化

- 1 2月議会と2月議会に**繰越明許費**の予算案を**上程**し、適切な工期を設定することで、円滑な事業進捗を推進

＜予算執行率の推移（R2～R7）＞



例年、上半期の執行率は約6割、年度末の執行率は約9割を確保している